

スギ・ダニアレルゲン不活化試験

● はじめに

環境中のアレルギーの原因となる物質として代表的なものに、スギアレルゲン・ダニアレルゲンがあげられます。主要なスギアレルゲン・ダニアレルゲンタンパク質の1種である Cryj1 や Derf1 に対する加工品や薬剤等の効果を、酵素免疫測定法（ELISA 法）を用いて調べるアレルゲン不活化試験を受託しております。使用目的・対象品に応じて試験設計が可能ですので、お気軽にお問い合わせください。

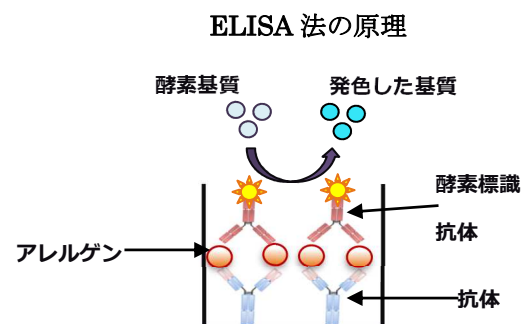
【例】

- ・薬剤や繊維製品等にアレルゲン不活化作用があるかどうかを確認したい。
- ・空気清浄機等のフィルターにアレルゲン不活化作用があり、「加工品」と「未加工品」の比較をしたい。

※花粉やダニそのものではなく、花粉やダニから抽出したアレルゲンタンパク質での評価となります。
 ※アレルギー反応を確認する試験とは異なります。アレルゲン濃度が低減したとしても、必ずしも実際のアレルギー発症が抑えられるとは限りません。
 ※加工による検体のアレルゲンの低減量を調べたい場合は、未加工の対照品も合わせてご用意ください。

● 試験概要

対象品	薬剤(消毒剤等), 繊維製品(布, 不織布等), 化学工業品など
試験可能アレルゲン	スギアレルゲン 【スギ花粉抗原「Cryj1」】 ----- ダニアレルゲン 【ダニ抗原「Derf1: コナヒョウヒダニ排泄物由来アレルゲン」】
試験方法(例)	試料及び対照品とアレルゲン溶液を接触し、一定時間作用させる ↓ アレルゲンの回収を行う ↓ ELISA 法でアレルゲン濃度を測定する ↓ 試料と対照品のアレルゲン量を比較する



● 検体必要量

ご依頼内容により変わります
 (例) フィルター等：
 A4 サイズ **1** 枚以上
 液剤：**50** mL 以上

● 納期(目安)

約 **1.5** 箇月～
 ご依頼のタイミングや試薬の
 入手状況等で変動します。

● 価格

お問い合わせください。